

# 美楽舎

B i G a K u S Y a  
Newsletter

No. 293

会報 第293号(平成28年3月発行)

東京都中央区銀座1-13-4 大和銀座ビル6F  
K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004

Mail kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP <http://bigakusya.com>

## 第317回(2月)例会

丸沼芸術の森 美術鑑賞会

## 「歌川広重・東海道五十三次浮世絵鑑賞と 入江明日香版画鑑賞」

2016年2月20日(土)

参加者: 会員3名他50余名

会場: 丸沼芸術の森 展示室

### 【幹事報告 片岡靖雄】

今回の例会は丸沼芸術の森の第110回美術鑑賞会に便乗しました。丸沼コレクション浮世絵版画の歌川広重「東海道五十三次」の紹介と、広重作品を現代版にした版画家の入江明日香さんのダブル講演でした。当日は丸沼芸術の森 第110回 美術鑑賞会で、美楽舎会員を含め総勢60人が出席しておりました。



講師: 丸沼芸術の森学芸員 大竹輝明氏

(講演要旨)

### ● 第1部 広重浮世絵「東海道五十三次」について

丸沼芸術の森学芸員 大竹輝明氏

歌川広重は1797年(寛政9年)に火消の子として生まれ、本名徳太郎です。15歳で歌川豊広に弟子入りし、16歳で広重を名乗るようになりました。本職が公務員(火消職)、副業が浮世絵版画絵師でありました。東海道五十三次は、広重が幕府の命令で江戸と京都を往復した体験や印象にもとづき、浮世絵を制作したとされています。

当時は旅行ブームで北斎の富岳三十六景や東海道中膝栗毛が大ヒットしていました。旅行ブームと言えど江戸から京都まで片道14日間を要する遠距離でした。

